

**なぜ？ なぜ？ なぜ？**

**死刑を執行した真意は…**

**死刑について考えてみませんか**

東京拘置所のそばで死刑について考える会（そばの会）

昨年七月二八日の死刑執行からちょうど一年を迎える今年の七月二八日、千葉景子法務大臣は東京拘置所で二名の死刑を執行しました。これは民主党政権下初の執行であり、死刑制度に否定的な考えを持っているはずの千葉法相の手によるものであっただけに、誰も予想していませんでした。

☆☆☆

一年前の森英介前法相による三名の執行は、政権交代が必至とみられる総選挙の直前になされたものでした。そして、民主党・鳩山内閣で任命された千葉法務大臣は自他共に認める死刑廃止の立場に立つ方でした。ですから、私たちも、少なくとも千葉さんは執行しないと信じ、それを前提に、将来、死刑を廃止していくための具体的な施策が開始されることを期待し、激励の声を送ってきました。

☆☆☆

その千葉法相が、なぜ、自ら死刑を担わなければならなかったのでしょうか。法務大臣になっても、自らの信念にもとづき死刑の執行を控えた人は、自民政権下にもいました。千葉さんにそれができない理由はありません。

☆☆☆

千葉法相は記者会見で、自ら東京拘置所の執行に立ち合ったことを述べ、今後マスコミに刑場を公開し、死刑に関する勉強会を立ち上げると発表しました。しかし、法務省内での勉強会ならば過去にも鳩山邦夫氏が法相の時代に行ったことで、その結果は死刑執行の濫発に拍車をかけるものでしかありませんでした。刑場公開もマスコミは喜ぶかもしれませんが、死刑確定囚の姿は隠されたままです。

なぜ、執行したのか、しなければならなかったのか、その本当の理由をこそ、千葉法相は明らかにしてほしいと思います。処刑した二名の命とともに、千葉さんは自らの魂をも葬ったのでしょうか。